

## 令和7年度 第4回 西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月12日（木） 13時30分から15時00分
- 2 開催場所 西小学校 会議室
- 3 出席委員 木村 祥基、加藤 正寿、山田 悟央、三上 昌子、前田 みち子、平出 慎一郎、小粥 隆太郎、福田 達樹、種茂 実予子
- 4 欠席委員 中谷 忠司
- 5 オフ・サ・ハ・ー 後藤 伸宇（県居協働センター）
- 6 学 校 渡辺 浩司（校長）、佐野 尚也（教頭）、高橋 真之（教務・CS担当）、國年 麻衣子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 國年 麻衣子

### 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

学校経営に関する課題の把握と改善策について

- (1) 学校関係者評価について（いじめ防止対策についての意見も含む）
- (2) 西小学校運営協議会の自己評価について
- (3) 令和8年度学校運営基本方針の概要説明

### 11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があった。全体的に高評価で、児童が安心感をもって生活をしていることや自分を肯定的に感じている児童が多いことがわかる。全国学力学習状況調査では、全国平均及び静岡県平均、浜松市平均を大きく上回っており、基本的な学力が定着していると言える。一方で、昨年度と比較し評価が低下傾向にある項目や、児童・保護者・職員で評価に差が見られる項目、肯定的に答えた児童の割合が全国平均を大きく下回った項目（全国学力学習状況調査の児童質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」）も見られた。体力テストの結果についても前年度の同一学年と比較し課題が見られる点がある。今後の改善策とし

て、目標設定や振り返りの定期的な実施、いじめに関する情報の職員間での早期共有化、学年団研修や授業改善、地域人材の活用、運動の習慣化による体力の向上などを挙げた。

学校関係者評価の結果を受けて、教職員で考えた改善策について熟議し、以下の発言があった。

■「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に対する肯定的な回答が全国平均を下回った点について

- ・難しい問いで、子供が子供会や自治会などの地域行事に参加するかどうかは親の影響が大きい。学校と地域がより連携しないと解決できないと思う。(福田委員)
- ・地域にどんな困りごとがあるか、という情報がないのではないか。地域とつながり、地域のことをよく知れば、何かしてみたいと思うようになるかも。(山田委員)
- ・質問からイメージする意図が、受け取り手によってギャップがあるのかも。自分の中では地域だけでなく「世のため人のため」というように、もっと広いイメージ。以前出席した卒業式で児童が夢を発表した際、「〇〇のために」、「〇〇を幸せにするために」という子供が多く、感動した。「人のために」が当たり前になっている世代。(平出委員)
- ・子供にとって何をすることが地域のためになるのか。ごみ拾いや挨拶など、小さなことでもいいよ、と子供に伝えてあげるとよいのでは。(種茂委員)

■運動の習慣化について

- ・長い休み時間に外に出ず、タブレットでゲームをしているのを見た。運動したいと思える機会をどう与えるか。(福田委員)
- ・タブレットやゲームの魅力には全部負けてしまう。タブレットの時間を制限して身体を動かすように持っていくとよいと思う。(山田委員)

■児童、保護者、職員で評価に差が見られる項目について

- ・どうして大きく差がでるのか、職員の見解を聞いてみたい。(平出委員)
- ・子供なりにがんばっていることに対して、保護者の評価目線が厳しいのでは。気持ち上がるような言葉をかけられるように親も学んでいかないといけない。(小粥委員)
- ・いつの時代も保護者の方が厳しい目で見ている。(前田委員)
- ・子供のがんばりに気付いていないのか、大人から見たレベルに達していないのか。家庭で遊んでいる姿しか見えていないのかもしれない。(種茂委員)
- ・参観会に来ていなかったり、学校ブログを見ていなかったりして、子供が学校で何をしているか親が知らないという面もあるのでは。(福田委員)
- ・「むずかしいことでもあきらめずねばり強く取り組んでいる」につき保護者、職員のポイントが低い。何かしら対策が取られてもよいのでは。(木村副会長)

→保護者の回答には期待が込められている。職員は以前勤めていた学校と比較してしまう面もある。(教頭)

■いじめ対応について

- ・学校ではよく対応してくれていると評価したいが、一方で情報共有のスピードだけが本当に問題なのか。(木村副会長)
- ・学校の把握が実態に追いついているか。(平出委員)
- ・丁寧に対応してくれている。子供については先生が聞き取りした方が良いが、保護者との連絡は第三者のサポートを入れられないのか。(福田委員)

■その他全体を通して

- ・進んで学習に取り組むことができるよう授業改善していくことが方策にある。対策の前後を見てみたい。(三上委員)
- ・子供を伸ばすのに一番大事なのは、成果を認めて、言葉にしてほめること。(加藤委員)
- ・昨年立てた対策につき、どこまでできたか、効果はどうだったか、それがどうアンケートに反映されたかを知りたかった。来年度は、対策の効果とアンケートへの結果を見えるようにしてほしい。また、教員の困りごとを直接、具体的に聞いて知りたい。(山田委員)  
→来年度、第2回学校運営協議会では全職員参加し、直接話せる場をもつ。(教頭)

(2) 西小学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から、運営協議会の自己評価について報告があった。

(3) 令和7年度学校運営基本方針の概要説明

議長の指示により、校長から、来年度の学校運営基本方針について、具体的な内容は来年度の第1回学校運営協議会にて示すこと、説明を行った。

12 その他連絡事項

- ・司会より、次回会議は令和8年5月8日(金)午後1時30分より会議室で開催する旨の報告があった。